

「青葉区 × 学校法人桐蔭学園 」

中年期から老年期における認知症リスクの低減に向けた 健康調査研究を共同で行います



(左) 天下谷青葉区長 (右) 学校法人桐蔭学園 溝上理事長

1. 概要

青葉区は全国屈指の長寿を誇っていますが、今後は「健康寿命」を「平均寿命」にいかにつ近づけるかが大切となります。健康寿命の延伸においては、身体の健康とともに、こころの健康も重要であり、自分らしく社会生活を営むために必要な機能を維持・向上させる施策の重要性が増しています。

そこで、認知症施策をさらに推進するために、このたび「青葉区」と、高齢者の社会参加等の調査研究で実績がある「学校法人桐蔭学園（桐蔭横浜大学）」との間で共同研究推進に関する協定を4月に締結しました。

高齢者対象の調査は多数実施されていますが、本調査では、中年期から老年期（40～79歳）までを対象としており、早期に多面的な認知機能の評価を行うことで、認知症リスクの「早期発見」に寄与することを主たる目的としています。令和4年度中に青葉区民を対象とした「こころと身体の健康調査」を行い、その調査結果を今後の認知症発症リスク低減につながる事業に活かすとともに、地域包括ケアシステムの構築をさらに進めていきます。

2. 青葉区と学校法人桐蔭学園(桐蔭横浜大学)について

青葉区と桐蔭横浜大学では、学術研究の向上や、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与することを目的に、平成22年に「桐蔭横浜大学と横浜市青葉区との連携・協力に関する基本協定」を締結しています。今回の健康調査に係る協定は、この基本協定の趣旨を踏まえ、調査研究の具体的な取組を進めるために締結したものです。

3. 調査研究について

以下の2つの調査を、令和4年8月頃より青葉区内にて実施する予定です。

(1) こころの健康：アンケート調査

郵送と対面の2つの方法で心理・社会面のアンケート調査を行います。

調査項目は、認知機能低下の早期発見項目に加え、心理・社会的態度を測るために幸福度、キャリア意識等も測定します。なお、対面調査は、区内施設の協力を仰ぎ実施します。

(2) 身体の健康：対面による運動機能測定

実際に簡単な運動機能測定をしてもらい、その場で本人の健康度等をフィードバックするとともに、その結果を健康調査研究の参考とします。当調査も、区内施設の協力を仰ぎ実施します。

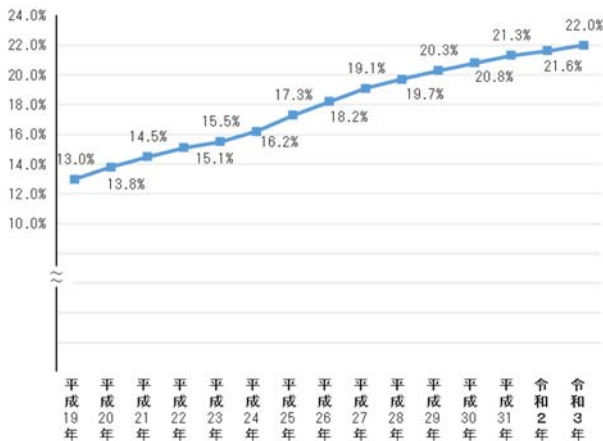
(参考)青葉区データ

青葉区の年少人口（0～14歳）・生産年齢人口（15～64歳）はともに港北区に次いで市内で2番目に多く、老年人口（65歳以上）は、市内で4番目に多くなっています（令和3年9月30日現在）。

また、今後は年少人口が減少し続け、老年人口の大幅な増加が見込まれており、2035年には高齢化率は32.7%になると予測されています。

令和元年度の青葉区区民意識調査では、青葉区内への定住意向は8割を超えている一方で、居住地域の課題として、「近隣の人とのつきあいの希薄化」や「高齢化による介護問題の深刻化」が高い割合で挙がっています。

◆青葉区の高齢化率の推移



出典：なるほどあおば2021

◆青葉区平均寿命推移

| | 男性 | | 女性 | |
|-------|-------------|------------|-------------|------------|
| | 平均寿命 (歳) | 全国での 順位 | 平均寿命 (歳) | 全国での 順位 |
| 2000年 | 80.3 | 3 | 85.8 | — |
| 2005年 | 81.7 | 1 | 88.0 | 7 |
| 2010年 | 81.9 | 8 | 88.0 | 20 |
| 2015年 | 83.3 | 1 | 88.5 | 9 |

厚生労働省 市区町村別生命表より

(参考)学校法人桐蔭学園

1964年に設立された学校法人桐蔭学園（横浜市/理事長 溝上慎一）は、幼稚園から大学院までを擁する総合学園です（<http://toin.ac.jp/>）。桐蔭横浜大学（学長 森朋子）は、法学部・医用工学部・スポーツ健康政策学部の3学部。本調査では、スポーツ健康政策学部の教員と学生が運動機能測定を担当します。本調査は、桐蔭学園トランジションセンター（*1）が窓口となり実施し、調査分析は理事長の溝上慎一が代表を務めるプロジェクトチームで行います。

- ◆（*1）トランジションセンター：2018年4月に桐蔭学園内に設立（<https://www.toin-tc.com/>）。地域住民や法人を対象に、生涯学習やキャリア支援、地域連携や社会貢献活動を行う機関として活動を行っています。2021年には、横浜市青葉区にあざみ野地域において設立された「認知症の人にやさしい街プロジェクト」実行委員会のメンバーとして、シニア意識調査を担当。

お問合せ先

（協定に関すること・青葉区の高齢化率等に関すること）

青葉区高齢・障害支援課長

倉田 力 Tel 045-978-2442

（調査に関すること）

学校法人桐蔭学園 トランジションセンター所長・桐蔭横浜大学 教授

武田 佳子 Tel 045-975-2100